



今年3月に鎌田会頭へ提言書を手渡した際の様子。

仙台YEGの
活動の詳細は
ホームページから
ご確認ください



**親子参加のイベントから
政策提言まで多彩に活動**

仙台商工会議所青年部(以下、仙台YEG)は2002年6月に創設され、来年、設立から20年を迎えます。前身は「仙台商店会青年部連合会」という組織で、全国各地の商工会議所における青年部の設立機運の高まりを受け、同連合会を発展させる形で誕生しました。

その綱領には、「地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献する」と定められており、これに賛同する45歳未満の地元中小企業の若手経営者や次世代経営者のほか、各企業の代表者が推薦する社員など、現在約240人が所属しています。他の青年経済団体と異なるのは、活動の基盤を「自社企業の経営」に置いている点です。自社経営を安定、成長させるために、メンバー間での取引を善しとし、盤石な経営基盤のもと、地元商工業の発展と地域への貢献、郷土づくりを行うのが仙台YEGの特徴です。

このようなメンバーが集まり、展開している仙台YEGの事業から、代表的なものをご紹介いたします。

筆頭は「杜の都Kidsウォークラリー」で、毎年5月末から6月初めに実施し

特集 2 地域の「未来」を切り開く行動を展開！ 仙台商工会議所青年部 虎の巻

仙台商工会議所青年部は、メンバーはもちろん地域全体のビジネス環境の発展を目的に、研修企画やイベント事業等を積極的に実施しています。

今月号では、齋藤友和会長から、青年部の魅力や主な活動内容を紹介いただきながら、本年度の活動の意気込みに加えて、入会後に感じた自身の行動や考え方の変化について、お話しいただきます。

世の中を元気にする、世の中を作っていくことができるのは、行動した者だけです。不確実な時代だからこそ、経営者、青年経済人、地域を愛する者として、明るい未来を築いていきましょう。

まず「行動すること」が、何かを変える第一歩だと思います。

令和2年度 仙台商工会議所青年部 会長
株式会社ステップスナイン 代表取締役

さいとう ともかず
齋藤 友和氏

〈プロフィール〉
1977年9月9日生まれ。仙台市出身。2010年4月仙台商工会議所青年部に入会。専務理事、筆頭副会長等を歴任し、令和2年度会長に就任。本業では、再生資源卸売業、産業廃棄物・一般廃棄物処理業のほか、全国のスーパーへ古紙リサイクルポイントシステム(RPS)の設置提案と運営管理を展開中。



働くことの意義を熱く伝えたり、近年は、学生の皆さんに地元企業を回っていただき社長と直接話をしたり、社員の働き方を見てもらうなど、仙台YEGらしい就職活動のサポートを行っています。

このほか、現地のビジネス事例等を学ぶ海外視察など、自己研さんにつながる活動も行っています。

そして昨年度、このような活動の基盤となる考え方、行動指針を「仙台YEGビジョン」としてまとめましたのでご紹介します。

仙台YEGビジョン 2020-2021

【ビジョン】
仙台の「未来」は私たちが創る！
若さ、情熱、バイタリティーで
仙台の「未来」を切り開こう。

【行動指針】

1. 会員間の連携を強化し、取引を活性化させる。
2. 仙台の魅力を発掘・発信する。
3. 資質向上に努め、影響力をもつ人材となる。
4. 未来を担う後継者を育成し、雇用を創出する。
5. 仙台YEGの会員であることに誇りをもつ。

仙台の未来を創る！ 【仙台YEGジュニア】

もう一つ、私たちが10年ほど前から実施しているものに、学生を対象とした事業があります。これは、地元の学校を卒業しても就職で県外に出してしまう学生が多い現状を鑑み、「仙台にも魅力的な企業があることを知ってもらい、仙台で働くこと」のよさを伝えることを目的に開催しています。

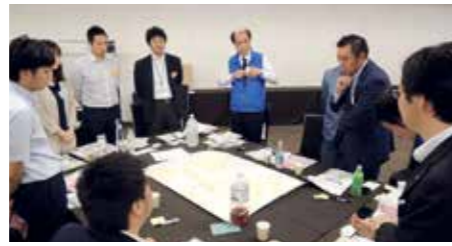
学生とYEGメンバーとの意見交換の場を設け、会社の経営に携わる立場から

仙台商工会議所青年部の主な事業をご紹介します



杜の都 Kidsウォークラリー

仙台YEGの一大イベント。昨年度は、錦町公園やクリスマスロード商店街などを巡る、約4.8kmのコースを親子で散策。ゴール会場で待つ宮城県内各地のグルメや、親子で楽しめる体験コーナーなどを励みに、約2,000人が初夏のまち歩きに挑戦しました。



伊達な風会議

東北経済産業局、宮城県、仙台市の同世代の職員とともに、官民の垣根を越えて地域の課題解決策を考える場として、毎年実施している事業。昨年度は、「学生の定着のために」、「外国人労働者の受け入れについて」、「観光資源の発掘と旅行者への訴求方法」、「購買意欲をかきたてる商売を考える」の4テーマについて意見を交わしました。



百間は一見にしかず! 四方好し! 経営者と共に歩く地元企業ツアー

在仙の大学・専門学校等の学生に対し、今後の就職活動時における職業選択の一助としていただくため、複数グループに分かれて仙台YEGメンバーの企業を訪問。地元企業の魅力や可能性、仙台で働く魅力を体感しながら、今後進む道の選択肢を広げていただく機会を提供しました。

入会のご案内

仙台YEGは、私たちの住む地域、おのおののビジネス、そして私たち自身を元気にし、かつ盛り上げるために、研修企画やイベント等のさまざまな事業を行っています。地元中小企業の若手経営者や次世代経営者、各企業の代表者が推薦する社員など男女問わず、幅広い業種の方々が所属しています。ともに仙台を盛り上げていきましょう!

入会までの流れ

[入会資格]

入会するには右記の4要件を満たす必要があります。

- ① 仙台商工会議所の会員事業所(団体)であること。
- ② ①の代表者、もしくは代表者が推薦する役員・それに準ずる方であること。
- ③ 満20歳以上45歳未満の方であること。
- ④ ガイドンスに参加し、役員会の承認を受けること。

ステップ 1 所定の「青年部会員入会申込書」に必要事項を漏れずに記入・押印のうえ、写真(縦4.5cm×横3.5cm、スーツ・ネクタイ着用(男性の場合))2枚を添え、併せて反社会的勢力ではないとの誓約書に記入、押印のうえ青年部事務局までご郵送またはご持参ください。

※「青年部会員入会申込書」は青年部ホームページ(<https://www.sendai-yeg.jp>)からダウンロード可能です。
※ご希望の方は、入会前に各委員会の様子を見学していただけます。

ステップ 2 「新入会員ガイドンス」へご参加ください。

※「新入会員ガイドンス」への参加は必須となります。
※入会申込後、ガイドンス開催日を青年部事務局よりお知らせします。

ステップ 3 役員会にて入会が承認され、いずれかの委員会に配属されます。

※事前に委員会への配属希望をお伺いします。

ステップ 4 承認後、下記会費等の納入をもって正式入会となります。配属された委員会(原則月1回)や、随時開催される事業への参加が活動の中心になります。

会費等

入会金: 4,000円 年会費: 36,000円

※事業年度は、4月1日～翌年3月31日となります。※仙台商工会議所の年会費とは別途のご請求になります。

☎ 仙台商工会議所青年部(事務局:仙台商工会議所 経営支援チーム)
TEL 265-8127 / メール: yeg@sendaicci.or.jp / HP: <https://www.sendai-yeg.jp>

仕事の幅を広げるメンバー間での連携

「行動指針」の「2」に挙げたように、私たちの中では、仙台は素晴らしいまちであるのに、その魅力を発信しようという意識が不足しているという意見も多く出ています。情報発信も、行政の方々と一緒に取り組めるよう、本年度は特に力を入れていきたいと思っています。さらに、仙台に来ていただいた方に、仙台のよいところを見てもらえるようなパッケージングを考え、地元にお金が落ちる仕組みをつくるなど、YEGだからこそ生まれる柔軟な発想で、「突拍子もないこと」も含めて、実行していきたいと考えています。

私自身、YEGに入会して感じたのは、地元を代表する企業や、成長著しい企業の経営者の方々と気軽に話し、仲間になれるということが、率直にうれしかったですね。そして最もよかったと思うのは、経営者のさまざまな考え方にふれることができたことです。

また、入会する前までは、仕事は自社の中で完結するものだと思っていました。しかし、仙台YEGで活動する中で、自社だけではできない業務を補ってくれる多様な業種と、その専門家であるメンバーがたくさんいることに気が付いたのです。以来、自社の仕事の進め方に、「アウトソーシング」という手法が加わり、圧倒的に仕

事の幅が広がりました。

そして、商売に直結する部分だけではなく、災害発生時、迅速な支援活動を円滑に実施する体制を組んでいるのも特徴の一つだと思います。仙台YEGは、全国に418(2020年4月1日現在)ある単会の中から、深谷、富山、広島の三つのYEGと提携して、災害が発生した場合には、率先して支援活動を行う協定を2013年に締結し、毎年、日本YEG災害協定青年部交流会を開催して、顔の見える交流を続けています。

それ以外にも、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にある飲食店を応援しようと、仙台YEGと食の力プロジェクトが主体となって「愛する店ドットコム仙台」というファンドを立ち上げました。多くの業界で、まだまだ厳しい状況が続くと思いますので、今後も継続して何か支援をできないかと、現在計画を練っているところです。

愛するもののためならもう少し頑張れるはず

ここまで仙台YEGの活動内容をご紹介してまいりましたが、第19代会長としての私の思いや考えをお話しさせていただきました。

「行動こそすべて、ちょっと無理して、もっと愛して」。これが、本年度のスローガンです。時代の変化が激しく、自然災害、そして新型コロナウイルスの影響もあ

まりに大きく、これまで全く想定していなかったことが起こる不確実な時代であると感じています。このようなときこそ、考え過ぎることなく、できることから行動し、それによってまちを元気にする、ひいては時代を変えようという思いを、このスローガンに込めました。

また、経営者になると、限られた時間の中で活動してしまいがちになります。しかし、その活動範囲から1歩踏み出すことが、未来を切り開くための大きな1歩になると信じ、「ちょっと無理して」と書き加えました。さらに、人は自分のためだけに行動することは難しくても、愛する



昨年9月に実施したニューヨーク視察会の様子。JETROのニューヨーク事務所現地での商習慣について説明を受けたほか、日本人起業家からビジネスモデルや今後の展望を学ぶことで、参加したメンバーは新たな刺激を受けていた。

家族や仲間、社員のためなら頑張れるものです。「もっと愛して」には、「大切な誰かのために頑張れるはず」。そんな思いを込めました。

仙台YEGは、1人ではできないことも、思いを同じくする仲間と一緒にやれないことは何もないという強い思いで団結し、来年の設立20年という節目に向けて成長し続けることで、仙台のさらなる発展を目指して活動していきます。それには新しい仲間の力が必要です。ぜひ地元・仙台を愛する方の入会を、お待ちしております。

行動とロバ

ちょっと無理して、もっと愛して

令和2年度仙台YEGスローガン